

## 我孫子市史研究センター・会報289号 (通算595号)

発行・編集 我孫子市史研究センター 発行日 令和8年6月26日

### 2026年(令和8)定例総会が開催される

日時 : 2026 (令和8) 年5月28日 (木) 午前9時30分～

会場 : 我孫子南近隣センター第1会議室 出席者: 25名

総合司会: 後藤美鈴会員、議長に宗岡恒雄会員、書記に脇明子会員を選出。

1号議案から7号議案(詳細は「議案書」を参照下さい)満場一致で承認されました。

### 総会終了のご報告

会長 飯白和子

5月28日、「我孫子市史研究センター」の総会が開催されました。当日は25名もの多くの会員のご出席をいただき、7つの議案が全て満場一致で可決承認されましたことをまずご報告させていただきます。誠に有り難うございました。

第1号～第3号議案は、25年度(昨年度)の実績に係る議案です。

当該年度は創立50周年にあたり、歴史講演会の開催、記念誌の発行、記念祝賀会の開催など多くの記念事業を行い、50年の区切りが恙なく終了しました。改めてこの間のご協力に心から感謝申し上げます。

第4号～第7号議案は、26年度(今年度)の計画に係る議案です。

更なる50年の一步となる本年度は、2月に行った会員アンケートの結果を念頭に置いて市史研を運営してまいります。新設した「事務企画会議」では、全ての部会長を事務局のメンバーとして、組織全体・会員全体に目配りの利いた施策を検討・実施していきたいと考えています。検討の際に留意していることは、「不易流行」です。市史研の根幹にかかわる事項はこれを「不易」として引き続き堅持してまいります。明らかに時代遅れとなっている事項は「流行」遅れとして改めていきたいと思っています。

会員アンケートには、市史研に入会した動機として、「地域の歴史を学ぶ」「古文書を読む」「交流の場を広げる」の3大理由が示されています。当たり前と言えば極めて当たり前の事柄なのですが、市史研として、大切な会員のニーズに今まできちんと向き合っていたのか真摯に反省し、組織運営していきたいと考えているところです。

すでに様々な施策を検討していますが、取り敢えず短期的には、会員の皆様の満足度を高めるために、足元の見直しを行ってまいります。具体的には、8つの部会の在り方、そして歴史探訪や講演会について、会員の皆様のニーズを十分反映したものにしていきたいと思っています。決定した施策につきましては、会員の皆さまとの媒体となる毎月発行の「会報」でお知らせしていきます。また、会報自体もっと楽しく読み易くする工夫も試行錯誤してまいります。

つきましては、より楽しめる市史研作りの為に、会員の皆さまの忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

#### 7月会報目次

- |                         |                        |                         |
|-------------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 定例総会報告 . . . . . P 1 | 5. 火曜古文書 . . . . . P 6 | 9. 投稿・古文書を楽しむ . . . P11 |
| 2. 加曾利貝塚を訪ねて . . . P 2  | 6. 古代・中世史部会 . . . P 7  | 10. 7月の部会活動予定 . . . P14 |
| 3. 文化財・サポート隊 . . . P 4  | 7. 井上家文書部会 . . . P 8   |                         |
| 4. 県史を読む会 . . . . . P 5 | 8. 日曜古文書 . . . . . P10 |                         |